

メーデー要求書提出

瀬教労は、2019年度メーデーに当たり、要望書を瀬戸市長に提出しました。

1. 各校への教育予算の増額をしてください。

2. 教職員の健康・労働条件と児童・生徒の健康・安全について

(1) 「学校における働き方改革に関する取組の徹底について」(通知「35文科初第199号」)を生かした取り組みをしてください。

(2) 児童・生徒や教職員にとつて心身ともに負担となっている過熱傾向にある部活の在り方を見直し、市として「部活ガイドライン」を出してください。

下記の内容を取り入れてガイドラインを作成してください。

○平日及び土・日の活動
・平日に2日の休養日を設ける。

・家庭の日(毎月第3日曜日)における部活動は実施しない。

・土・日曜日のどちらか一日は「児童生徒・教職員の健康障害防止」を目的に休養日とする。

・土・日曜日の活動時間は3時間までとする。

・大会への参加などにやむを得ず土・日に活動する

ような場合は、代替休養日を確保する。
定期テスト前については、原則1週間前から部活動を行わない。

・生徒および教員に部活の強制はしない。また、新任に部活担当はさせない。

○長期休業中の活動

・活動は平日のみとする。

ただし、協会・連盟等が主催する大会が休日に行われる場合は、生徒には平日に代替休業日を設定する。

・練習時間は3時間までとする。

○その他

・大会の精選など関係機関とともに進める。
・小学校の部活は廃止する。

3. 教職員の働く環境と福利厚生について

(1) 男女別の横臥できる休養室・シャワー室をすべての学校で設置できるよう、計画を進めてください。現在の設置状況と今後の計画を明らかにしてください。

4. 憲法・教育基本法・子どもの権利条約に基づいた子どもの人権擁護の推進、開かれた学校づくり、子どもを取り巻く環境の改善について

(1) 「全国学習能力調査」に参加しないでください。学校別の点数公開を行わないで

ください。また、小学3・4年生の基礎学力調査を中止してください。

5. 学校の施設・設備について

(1) 各教室のテレビを液晶デジタルテレビに取り換えてください。

6. 教職員の配置について

(1) 小・中・高3まで35人学級の制度を市独自で作ってください。

7. その他

(1) 図書館建設に当たっては、図書館本来の理念を踏まえ、市民のニーズに合ったものにしてください。地域図書館の充実・拡充を図り、利用しやすくしてください。また、市の直営とし、市民に開かれた協議会を設置して民主的に運営してください。

以上

※ 例年、市から各項目について回答が届きます。後日、回答をお知らせいたします。

※ 詳細は瀬教労HPをご覧ください。



今年も「学校の教職員は適正配置されているか？」

再任用校長あり？

八幡小では、退職した校長が、再度同職場に新任として勤務。あれっと思いませんか？数年前から、教務主任が、再任用で同じ職場に勤務することがありました。今回は校長です。来年度は、学校の統廃合で管理職を含め大量の人員削減が行われるための措置なのでしょう。教員を駒の一つとして扱っている市教委・県教委の立場があらさまです。

学校の教職員は適正配置されているか？

産休・育休の取得者が多く、多数の講師で学校経営を余儀なくされている学校もありま。す。「適正配置」を主張する教育委員会こそ、教職員の適正配置、バランスのとれた職員配置に気を配らなければなりません。

正規の教職員の配置を！

教育に臨時はありません。教育現場から差別・選別を排除し、真の働き方改革を作っていくなければなりません。国の教育行政の正常化を！

中一貴王の聲

4月11日、中日新聞に「市

政の課題」として20年開校の「にじの丘学園」に関しての記事が載りました。

「市からきちんとした説明があれば、にじの丘にしたかもしれないが、いまだに通学路もカリキュラムもわからない。説明会で質問されても市側は『検討します』ばかり。(中学は)高校受験を控えているのに、子どもをどうやって通わせる選択をできるのか」

「行き帰りの通学路もどうなるかわからず、真夏の猛暑の中で、家から学校までの子どもたちの安全はどうなるのか」

「そもそも統合を求めているわけでもない。(学校の)選択肢があってもいいのでは」

「小中一貫は中一ギャップやいじめ対策として悪いことではないと思うが、いつ住民が合意したの」

「路線バスを使うなら、スクールバスと同じ安全性が確保されないとおかしいし、安全という根拠を示すのが先のはず。朝、家を出て帰ってくるまでの子供の安全がわからない」



「保護者が月額二千元を負担する話が出ているが、義務教育で、こちらが望んでいないことを市の都合でやるのに、なぜ住民が負担しなくてはならないのか」

※ 裏面に続きがあります。これまでせきようろうニュースで指摘してきた声ばかりです。

2019尾張東メーデー

憲法を生活のすみずみに活かそう メーデー集会

場所：瀬戸宮川モール

日時：5月1日（水）

日程：9:15～ 受付

オープニング（うた）

9:30～ 集会

10:10～ 瀬戸蔵から行進

宮前広場にて解散

※ 行進終了後、労働運動の先駆者（谷口賢造氏）の墓参を兼ねて、宮川モールから宝泉寺まで労働運動の歴史を案内します。

メーデーは生活を守る

「第1の8時間は仕事のために、第2の8時間は休息のために、そして残りの8時間は、おれたちの好きなことのために」をスローガンに掲げて発足しました。

瀬戸地方では、1927年瀬戸公園を会場に県下で2番目のメーデーが開かれました。その伝統を引き継いで行っているのが尾張東メーデーです。

「長時間労働」「過労死」が問題化されている現代の日本ですが、世界の労働者と一緒に8時間働いたら帰る、暮らせるワークルールを作り上げましょう。



2018年度メーデー（昨年）の写真

小中一貫校、一貫教育について にじの丘学園 ムのかリキョウ

原田 千育

瀬戸市は、3月末ににじの丘学園のカリキュラムを公表した。このカリキュラムは、基礎的な学力を身に付け、心身の健康を促すことを目的としている。また、地域社会と連携し、子どもたちの生活習慣を育てることも重視されている。

目標が、5教科の到達度を80%以上とする。そのために、算数では、指導の徹底を図る。また、英語の学習も、小学5年生から始める。さらに、音楽や体育など、総合的な学習の時間も確保されている。このカリキュラムは、子どもたちの将来の成長を支援するためのものだ。



教育に取組む。英語検定3級の取得を目指す。また、ICTを活用した学習も推進されている。さらに、地域社会との連携も重視されている。このように、にじの丘学園は、子どもたちの将来を支援するための様々な取り組みを行っている。

にじの丘学園 優遇措置 てんこもり

小中一貫校整備の備品購入で3億2,000万円が予算に計上された。内訳は、新品図書に3,000万円、電子黒板等に2,900万円、電子バス購入費に450万円、バス4台分と、い

新品図書&新品備品ににじの丘優遇は学校間格差をさらに拡大

どうして図書が新品なのに利用すれば経費削減になるのか？

ます。また、他の教育機器も十分活用できる。他校にもあるはずの、旧備品の回すから大きく逸脱しているといえます。

バス（4台）購入費
4000万円

通学に関するバスは、安全な状況と運行から保護者は不安。にじの丘学園は、バスを複数台導入し、安全な運行を確保する。また、バス購入費は4,000万円と、他の学校よりも大幅に多い。これは、にじの丘学園の優遇措置の一つである。

※一面からの続き

「保護者がみんな説明会に参加できるわけではない。ききだ」

「どうして地域に事前の相談もなく決められるのか」

「今でも元に戻してほしいと思っているが」

「今となっては地域が納得するように、住民の要望を少しでも反映させてほしい」